



2018-2019年度 国際ロータリーのテーマ

インスピレーションになろう
BE THE INSPIRATION



撮影：三宅孝治 会員

Rotary  倉敷南ロータリークラブ
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8001 倉敷市連島町西之浦4141ヘルスピア倉敷

第 2775 例会 R.Song 「我等の生業」 天候：曇り No..2775/2018.11.9

Guest なし

Visitor なし

出席 会員数 68名（うち出席規定免除者②名①3名）

11/9の出席率 55.17%（出席者32名、内①5名）

10/26の例会出席率補正91.04%

欠席 江澤、藤木、原田、樋口、川端、菊本、北尾、三宅繁、室園、中川、中西、
奥本、寫田(章)、白髪、杉原、田原、和田、若狭(宏)、渡辺(英)、渡辺(祐)、
山口、山本勲、山本(由)、山中、横道、寫田(晴)、各会員（26名）

柘野会長

- ・丁度、この秋真っ盛りで紅葉狩りの季節がやってきました。先週奥津溪に行ってきました。今年には朝夕の冷え込みがあったので、鮮やかな赤や黄色のコントラストが絶妙で大変綺麗でした。日本には昔からある「日本の伝統色」があります。たとえば海老茶色、きつね色、山吹色、鶯色、藤色などがあり、落ち葉を拾って「赤っぽい茶色」というより「海老茶色」といった方が趣があります。日本の文化、そして日本の繊細な言葉の表現力など、大切にしていきたいと思います。
 - ・10月26日の例会でポリオ募金をお願いして、37,000円をロータリー財団ポリオプラスへ寄付させていただきました。11月はロータリー財団月間です。また、11月は国連でのロータリーデーがあります。平和に向けた共通のビジョンを祝い、ロータリーと国連が世界中で行う、主な人道的活動を取り上げます。
 - ・本日のプログラムは、クラブ年次総会（クラブ協議会）です。振り返ってみますと、私も1年前ここからスタートでした。いよいよ永井年度の助走が、今日から始まります。
- 幹事報告（沼本幹事）：末長地区G事務所より、バギオだより第69号。他、報告7件
- 親睦・家族委員会
- ・12/18年末家族例会でのビンゴゲーム景品のご提供を会員の皆様をお願いいたします。

S M I L E 報 告 (佐藤副 S.A.A)

- ・永井会員：弘前 RC より、先の西日本豪雨災害義援金について手紙が届きました。(ご披露)
- ・中西会員：先日妻の誕生日の花束を有難うございました。大変喜んでおりました。
- ・安藤会員、石本(満)会員：11/3JFE フェスタで倉敷南ローターアクトクラブ出店に際し、多数のご寄付ご来場いただき誠に有難うございました。今後ともご指導ご支援お願いします。
- ・森会員：ショートスピーチをさせていただきます。
- ・柘野会長、浅見副会長、三宅副会長、沼本幹事：森会員の卓話「藤戸合戦」を歓迎して。
- ・高田会員：親友に会いに佐渡島へ 11/2～4 まで行ってきました。日本海に沈む夕日、紅葉とトキを見て、自然を満喫してきました。佐渡の民家はとても素敵でした。
- ・柘野会長、沼本幹事、三宅(孝)会員、小田会員：会長、幹事他 5 名で、JFE 西日本野球部の応援に京セラドームへ行って参りました。激しく熱い声援のかいありまして、見事 6 対 0 で勝利致しました。また、2 回戦も勝利しベスト 8 おめでとうございます。
- ・浅見副会長：11/3 晴天の元、39 回目の JFE フェスタが盛大に開催され、主催者発表ベースで 11 万人の方に来場いただきました。駐車場が少なく、皆様にご迷惑をお掛けしましたことは来年の課題です。ご来場いただいた皆様に御礼申し上げます。

プログラム 卓話 ①クラブ年次総会・クラブ協議会

- ・柘野会長より、次々年度の会長選出の件は、慣例により会長に一任するという事です承されました。次々年度は、60 周年行事があることもあって今日現在決まっておられません。今後の次々年度会長並びに次々年度理事役員選出については、慣例により会長エレクトに一任する事になった。(来年 1 月中旬に発表予定)
- ・永井会長エレクト挨拶：次年度の会長をさせていただく事となりました。皆様どうぞよろしく申し上げます。次年度の幹事は安藤会員、ロータリー財団委員長は、白髪会員にお願いしました。
- ・安藤次期幹事挨拶：入会して約 1 年 8 ヶ月ですが、どうぞよろしくお願い致します。

②「藤戸合戦について」 森会員

- ・今からおよそ 800 年以上もの遠い昔、源平の合戦が繰り広げられました。岡山県では、藤戸(現在の藤戸付近)と水島(現在の玉島付近)で行われた合戦が知られています。当社(興南設計)から見える篝地藏(かがりじぞう)は、平家の本陣では、いつもかがり火を燃やしていたことで後に土地の人が本陣跡に辻堂を立て、地藏尊を安置したことから篝地藏といわれるようになった。
▶倉敷クリエイティブパークの中にある興南設計からの眺めやその他写真にて藤戸合戦について説明。源平合戦の史跡、乗り出し岩、鞭木、先陣庵、日間山法輪寺等を説明。

例会プログラム予定：

2018.11.17 (土) 第 44 回倉敷南 R C O B 会合同例会 16:00～ 於 つきじ治作

2018.11.30 (金) 卓話 (演題未定) 東京海上日動火災保険(株)自動車Ⅱ部課長 千葉様